

プラネタリウムデビューをおてつだい

ママとキッズのはじめてのプラネタリウム

4月9日・10日に子育て支援企画「ママとキッズのはじめてのプラネタリウム」が開催され、1歳～2歳のお子さんを中心に、2日間でのべ794人の親子がプラネタリウムを楽しみました。

この企画は、プラネタリウムをお子さんと観たくても、「子どもが怖がってしまったり、泣いてしまうかもしれない…」となかなかプラネタリウムに気軽に来られない小さなお子さんをお持ちの方が、親子で楽しく参加していただくためのものでした。投映時間も20分程と短めにしたり、真っ暗ではなく少し明るめにしたり、楽しい音楽やかわいい星座の絵をたくさん取り入れたりの工夫をしました。

電話申込み開始初日から、ほぼ毎日お問い合わせがあるほどの反響があり、どの日も満席になりました。ママ友のつながりで申し込まれる方もかなり多くみえました。

投映内容は、星の色の違いを見てみたり、星座探しをしてみたり、月の模様を使って、うさぎがもちつきをしている絵にしてみたり、宇宙をワープして探検したりの内容でした。

宇宙を移動する場面では、月や土星が目の前に迫ってくるような映像がうつしだされると、怖くなってしまったり、泣いてしまった子も何人かいました。全体を通して、お子さんの楽しそうな声はもちろんですが、お母さんや大人の方の歓声もたくさん聞こえてきました。

お母さん方から、「時間も暗さ加減もちょうどよかったです。」「また、こういう機会があれば参加したいです。」「自分が子どもの頃に来たプラネタリウムに、自分の子と来ることができてうれしかったです。」などの感想をいただきました。

↓会場内の様子



プラネタリウムに映し出した
かわいい星座の絵(おとめ座)

ふしぎ工作のワークショップ

カベをすりぬける！セロテープに色がつく！

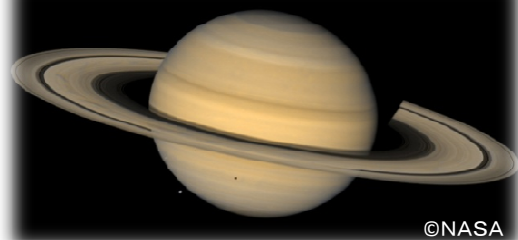
3月8日(土)ワークショップ「偏光を楽しもう！」が開催され、10人の小学生が参加しました。

最初に1枚の偏光板を配り、会場近くのモニター画面をのぞくところからスタート。偏光板をゆっくりまわし、あるところで画面が暗くなると、驚きの声が上がりました。次に、この現象を利用し、手品のような「ビー玉がすり抜ける不思議な箱」をつくりました。

続いて、2枚の偏光板の間にセロファンテープをはさんで電球などにかざすと、赤や青などの色が出て、スタンドクラスのように見える、「偏光スタンド」を作りました。



参加者からは、「偏光板を重ねると、色が違ってびっくりしました。」「きれいな物ができてうれしいです。」などの感想をいただきました。



星空を見上げて

★『土星を見てみよう!』★

土星は、5月11日に衝(地球をはさんで太陽の反対側の位置)となるため、一晩中楽しむことができます。今年は、てんびん座のあたりにあり、南から東の低い位置で黄色みがかかった明るい星を見つけみてください。

リングのある惑星として大変人気のある土星。一度は望遠鏡でリングも見てくださいね。当館では、5月10日、6月14日、21日の「星空クルーズ&天体観望会」や5月17日には「星を見る会」もあります。ぜひご参加ください♪

詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikenkan.jp>

管理・運営：公益財団法人 豊田市文化振興財団



とよた科学体験館 (産業文化センター内)
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL (0565)37-3007 / FAX (0565)37-3012